

2020年度 日立みらいイノベータープログラム 熊谷市立大幡小学校 出張授業レポート

【内容】

実施校	熊谷市立大幡小学校
クラス詳細	3クラス88人
出張授業実施日	1回目) 9月4日 2回目) 10月2日 3回目) 11月13日 4回目) 12月18日
企業講師所属	日立金属株式会社

【本プログラムに参加した講師・先生の声】

企業講師の声



- 子供達が一生懸命に考え、一步一步プロのイノベーターに近づいていると感じられました。
- 普段、小学生と関わる機会の無い私にとっては、とても貴重な経験でした。
- 出張授業2、3、4回目と回数を経るごとに最初の課題設定からはこちらも想像しえない、児童たちの解決法が生まれ、圧倒されました。児童たちの柔軟な発想は大人も見習うべきだと思いました。

小学校の先生方の声



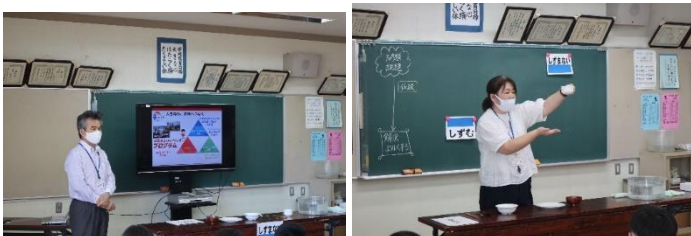
この日立みらいイノベータープログラムは、こども達の「変わる」が「見える」プログラムです。こどもたちの問題解決能力、特に課題に立ち向かう姿勢が目に見えて向上したと感じました。

【出張授業1～4回目レポート】

出張授業1回目(動機づけ)

■当日の様子

水槽の実験の時は、先生から「この食器が沈むと思う人？」との問いかけに、大きな声で「ハイ！」と手を挙げて、積極的に実験に参加する児童の様子が印象的でした。グループワークでは、なぜ自分の仮説と違う実験結果となったのか、互いの意見に耳を傾け、元氣よく発表してくれました。



出張授業2回目(課題設定)

■当日の様子

2つの大きな教室に分かれ、講師を交えてグループで課題について議論しあいました。まだグループワークになれていないチームもありましたが、講師のアドバイスをもとに人の意見を聞いたり、自分の意見をどう伝えるかを考える貴重な機会となったようです。次回の中間発表を講師達も楽しみにしていました。



【出張授業 1～4回目レポート】

出張授業 3 回目(中間発表)

あるチームの発表例

理想の学校	自分から行動できる学校
課題	大幡山（校庭の遊び場）ではチャイムが聞こえず、授業に遅れる人がいる
解決策	大幡山に時計を設置。（時間になったら自ら教室に戻るように）
講師からのアドバイス	なぜチャイムが聞こえないのか？もう一度よく考えてほしいと思います。時計を設置するためには、大幡山のどこに時計を設置するのかよいかを次回発表できるとよいでしょう。また、設置する場所によって見やすい時計(色・形)は違うので、そこも一緒に考えましょう。

【当日の様子】

児童達は、紙芝居や劇をしたり、大きな模造紙で報告したり、ユニークな発表方法で講師達を驚かせていました。どのチームも、事前調査が素晴らしく、発表のリハーサルもしていたようで、中間発表にかける強い想いを感じました。講師から、次回の最終発表でよりよい報告になるために、最後にグラフや図でわかりやすく伝える方法について教えてもらったクラスもあり、講師のアドバイスに真剣に耳を傾けている姿がとても印象的でした。



出張授業 4 回目(最終発表)

あるチームの発表例

前回からの改善点	① 時計の色を9種類で実験し、どの色が一番見やすかったか調査した ② 校庭のあらゆる場所で、どの場所に時計をつけたら一番見てもらえるか実験をした
講評	9種類ものダミーの時計で実験したということがまず素晴らしい！また、色や見やすさだけでなく、場所まで調査していることにも大変驚かされました。大幡山に時計を設置するという案を考えているチームが他のクラスにもあったので、ぜひお互いの意見を聞いて、交流を深めてほしいと思います。

【当日の様子】

感染が拡大していたため、密を避けて、体育館で最終発表会を行いました。児童達は、中間発表からの1か月間でさらに調査、分析をすすめ、チームの中で自分たちなりの結論をまとめ、堂々と報告していました。講師達も、児童達の成長にとても驚いていましたが、担任の先生方も本プログラムを通じて児童達の成長を実感したとお話されていました。プログラムの最後には、校長先生からプログラムの総括をいただきました。大幡小では、一つ下の4年生に対しても、今回の発表内容で活動報告をするそうです。

